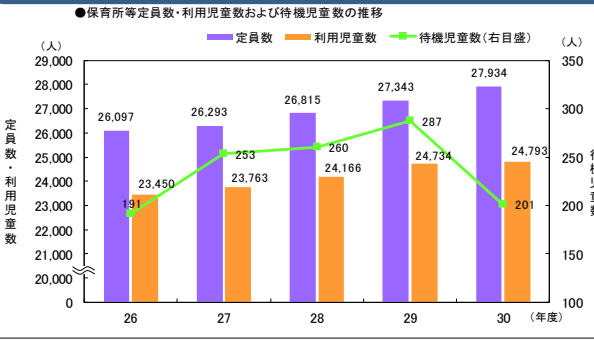


# 2 男女とも 仕事と子育てを両立できるための支援

## 待機児童解消の取組

### 1 待機児童の現状と分析



＜市町村別待機児童数＞  
H30.4.1 ( )内は前年

市町村名	待機児童数
奈良市	76(163)
大和郡山市	12(20)
天理市	25(13)
橿原市	13(20)
生駒市	63(46)
香芝市	0(16)
葛城市	6(2)
田原本町	6(6)
吉野町	0(1)
計	201(287)

#### 【待機児童の分析】

- ・受け皿は増加している
- ・待機児童の多くは奈良市と生駒市の都市部で発生(全体の約7割)。  
また市町村内でも市街中心部に偏重(市街地を離れると空き定員もあり)
- ・待機児童は1・2歳児が中心
- ・幼児教育無償化等により潜在的保育ニーズが顕在化が予想される

### 2 待機児童解消に向けた来年度の重点取組

#### (1) 保育士の確保

- ・保育士の魅力向上(保育士の定着促進)

重点取組

#### (2) 保育の受け皿拡大

- ・施設整備(市街中心部、小規模保育、企業主導型等)
- ・保育所・幼稚園の認定こども園化
- ・空き定員の広域利用 等

### 3 保育士の定着に関する課題

◇H25「奈良県保育士実態調査等報告書」より

#### (1) 保育士を退職した理由

- ・結婚のため(23.0%)
- ・出産・育児のため(21.1%)
- ・身体的な負担が大きいため(14.8%)
- ・職場の人間関係がよくないから(11.1%)
- ・休暇が取れない・取りづらいため(10.7%)
- ・給与に不満があるため(10.4%)
- ・時間外勤務が多いため(10.2%)

#### (2) 保育士勤務でやりがいを感じる

- ・子どもの育ちに関わることができた(88.5%)
- ・収入が得られている(39.6%)
- ・信頼できる仲間ができた(30.2%)
- ・自己実現が得られている(24.4%)
- ・社会の役にたっている(23.0%)

#### ◎保育士が仕事に魅力を感じるために必要なことは・

- ①仕事や職責に応じた評価が得られる
- ②キャリアを積み上げることができる
- ③職場の人間関係がよい

働きやすく、やりがいのある  
職場づくり

### 4 保育士の魅力向上のために必要な取組

～働きやすく、やりがいのある職場づくり～

#### (1) 保育士の仕事の負担軽減

- ・保育補助者等の活用  
保育士の補助を行う保育補助者  
清掃業務や遊具の消毒、給食の配膳、寝具の用意、片付け等保育に係る周辺業務を行う者)
- ・働き方改革に効果のある好事例の横展開

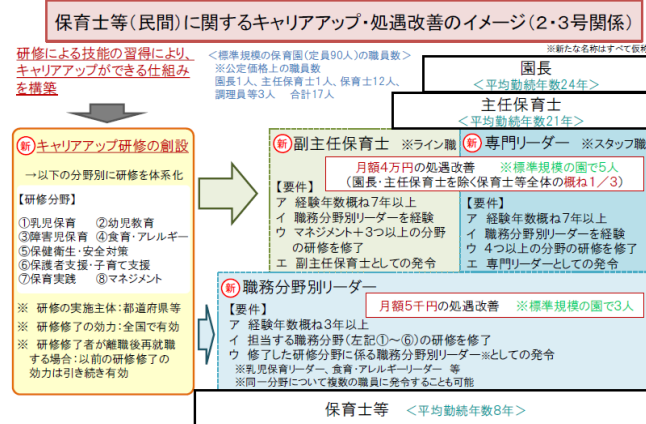
#### (2) 保育士のキャリアパス構築支援

##### ① 処遇改善

- ・キャリアに応じた給与の処遇

技能・経験に応じた保育士等の処遇改善等加算

副主任保育士・専門リーダー・職務分野別リーダー等を設けることによりキャリアパスのパスの仕組みを構築し、キャリアアップによる処遇改善を図る



#### ② キャリアアップのための研修充実

- ・経験年数、職務、職責に応じた研修を実施

#### ③ 若手保育士の定着支援

- ・保育士の平均勤続年数が約6年と短いため、若手保育士のスキルアップや保護者への適切な対応方法に関する助言・指導等、定着支援に向けた取組

●議論のポイント:効果的な保育士の確保に向け、さらにどのような視点が必要か。